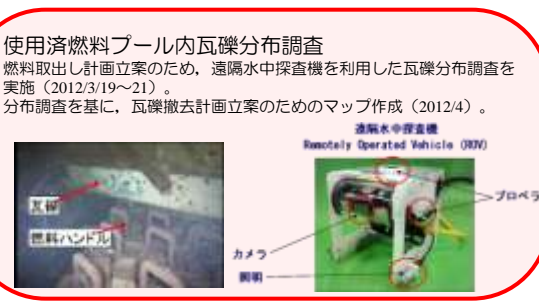
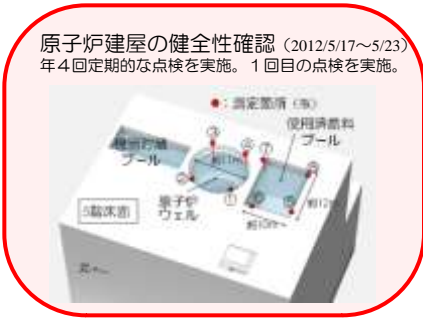
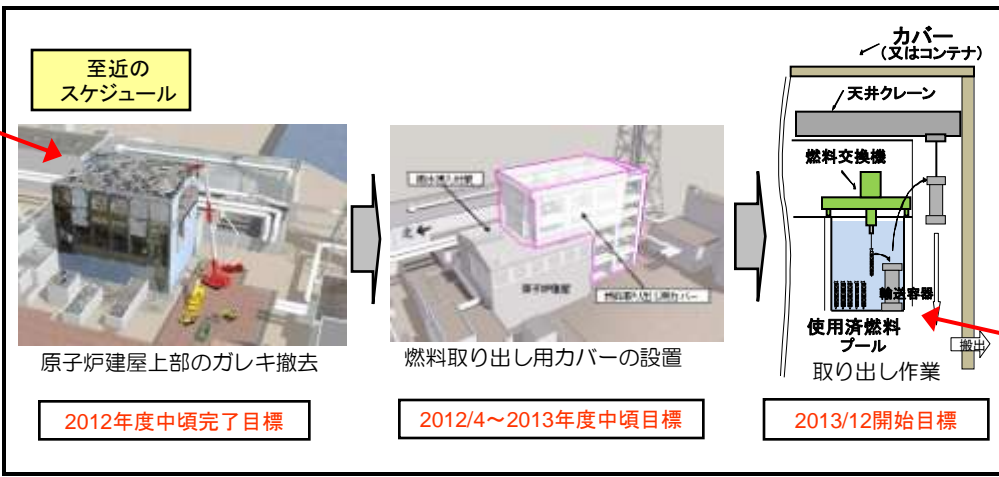


# 廃止措置等に向けた進捗状況: 使用済み燃料プールからの燃料取出し作業

**至近の目標** 使用済燃料プール内の燃料の取り出し開始(4号機, 2013年中)

## 4号機

燃料取出し用カバー設置  
に向けて瓦礫撤去実施中。



## 3号機

燃料取出し用カバー設置に向けて瓦礫撤去,  
及び瓦礫撤去用構台設置作業中。



2012年度末完了目標



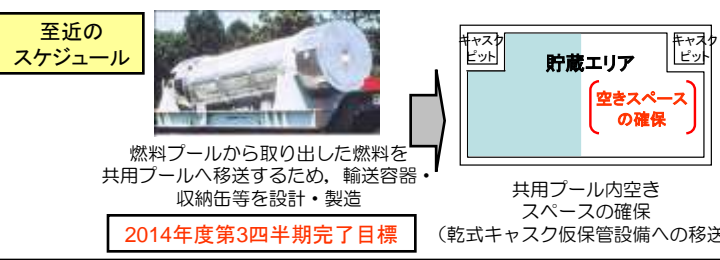
使用済燃料プール内の水中事前調査 (2012/4/13)  
プール内瓦礫撤去計画立案のため、水中カメラを遠隔操作し、事前調査を実施。



## 1, 2号機

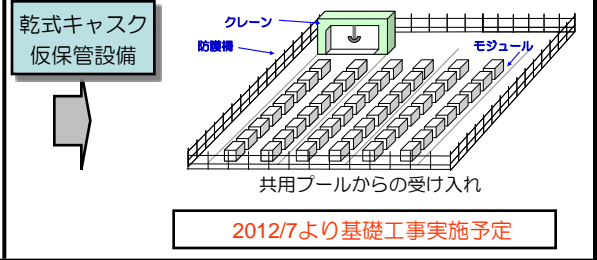
1号機については、3, 4号機での知見・実績を把握するとともに、ガレキ等の調査を踏まえて具体的な計画を検討、立案し、第2期(中)の開始を目指す。  
2号機については、建屋内除染、遮へいの実施状況を踏まえて設備の調査を行い、具体的な計画を検討、立案の上、第2期(中)の開始を目指す。

## 共用プール



現在の作業状況

- ・構内用輸送容器の設計検討中
- ・共用プールクーティリティ等の復旧工実施中



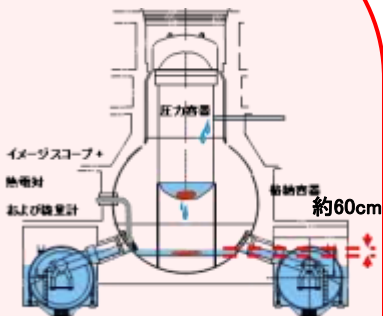
2012/7より基礎工事実施予定

# 廃止措置等に向けた進捗状況: プラントの状況把握と燃料デブリ取り出しに向けた作業

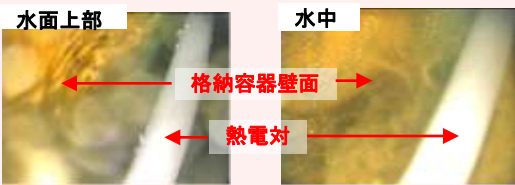
**至近の目標** プラントの状況把握と燃料デブリ取り出しに向けた研究開発及び除染作業に着手

## 原子炉格納容器内部調査

格納容器内の滞留水位、水温を確認し原子炉設備の安定冷却が維持されていることを再確認すること、格納容器内雰囲気線量を測定し、今後の取り組みに資する基礎データを取得することを目的とし2号機原子炉格納容器内部調査を実施(2012/1/19.3.26.27)。  
 水位(格納容器底部より約60cm)、水温(約50℃)、雰囲気線量(最大約73Sv/h)を確認。



引き続き、1号機格納容器内部の画像取得やデータ直接採取(雰囲気温度、滞留水温度・水位)等を目的に、調査装置を挿入し格納容器内部の調査を実施(2012/8月末から9月中旬の間での調査を予定)。



## 2号機圧力容器代替温度計設置

2号機温度計の故障等を受け、代替温度計の設置を検討中。現在温度計挿入候補箇所であるS/C差圧検出配管までの、アクセスルートの除染・遮蔽設置作業を実施中(2012/5/14~2012/5月末予定)。



※写真は凍結工法の例  
 モックアップ試験の様子

## 格納容器漏えい箇所の調査・補修

格納容器からの漏えい箇所および原子炉建屋からタービン建屋への漏えい箇所の調査・止水対策を行うにあたり、ロボットにより2号機トラス室内を可能な範囲で調査(2012/4/18)。  
 引き続き、3号機トラス室内を可能な範囲で調査(2012/6月下旬予定)。

調査用ロボット

- 線量計
- 広角カメラ4台(前/後)
- 有線通信装置(自動巻取・繰出機構付)
- 高性能カメラ1台(パン・チルト・光学ズーム)
- クローラー
- S/Cマンホール(南東)
- アクセスルート

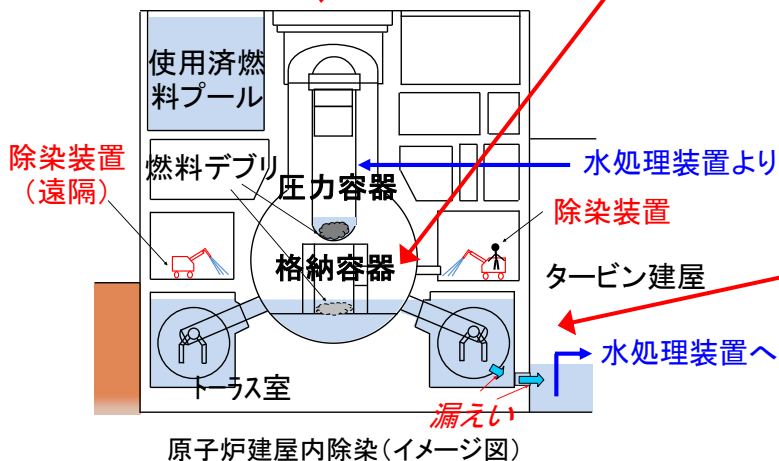
トラス室線量率 (mSv/h)

## 建屋内の除染

ロボットを使用し、原子炉建屋内の汚染状況調査を実施中。1号機調査を実施(2012/5/14~18、2号機調査2012/5/28~、3号機調査2012/6/11~予定)。



汚染状況調査用ロボット(ガンマカメラ搭載)

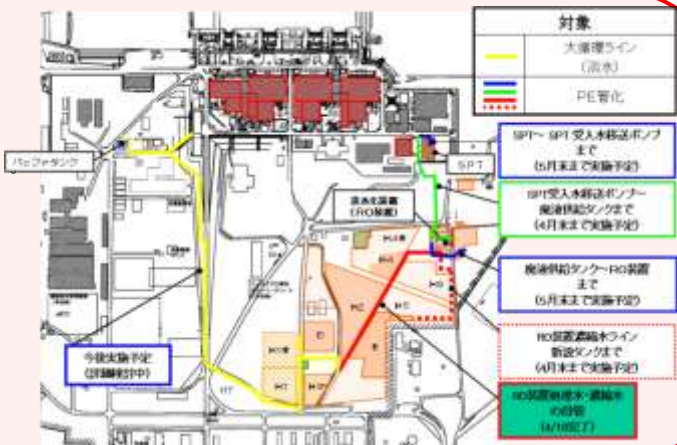
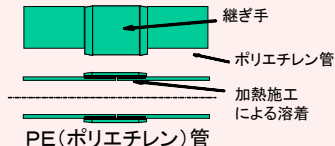


# 廃止措置等に向けた進捗状況:循環冷却と滞留水処理ライン等の作業

**至近の目標** 原子炉冷却, 滞留水処理の安定的継続, 信頼性向上

循環注水冷却設備・滞留水移送配管の信頼性向上

- 原子炉注水ラインのポリエチレン管化を実施。
- 将来的な循環ループ縮小を視野に入れつつ、3号機CSTタンクを原子炉注水の追加水源として使用できるよう点検を実施(2012/1/5~21)
- 滞留水移送配管のポリエチレン管化、セシウム吸着装置(KURION)ポンプ外付け化、漏えい拡大防止対策(土堰堤の設置等(全タンク設置済エリアへ土堰堤設置済, タンク設置中エリアへは全タンク設置次第速やかに設置)等の作業を実施中。



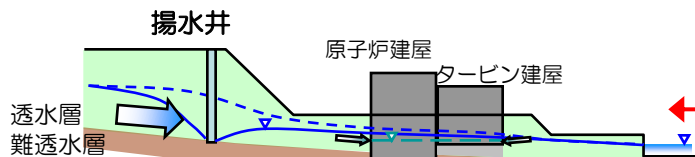
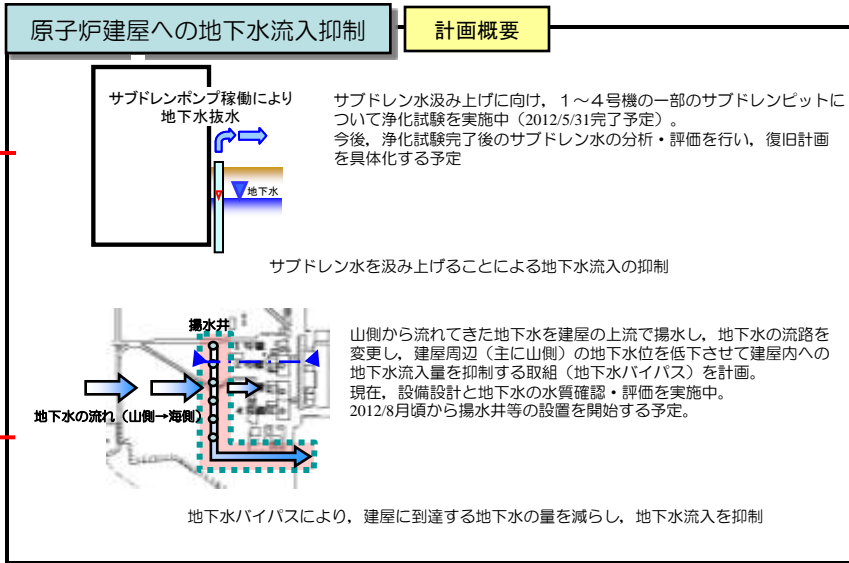
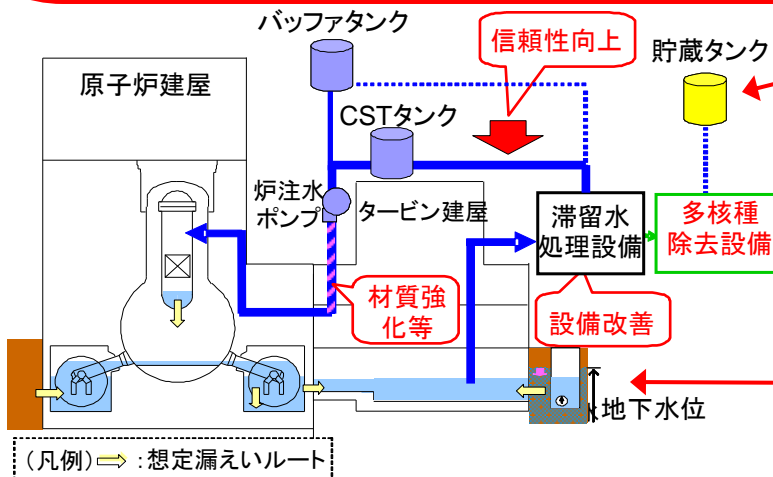
貯蔵タンクの増設中

処理水受用タンクは、十分な空き容量を確保。今後も更なる増設等により容量を確保していく予定。  
現在設置済み 約19.4万トン 空き容量 約3.7万トン)  
2012/5/15 現在



処理水受け用タンク

多核種除去設備の検討・設計を実施中  
水処理後の水に含まれる放射性物質を、より一層低くするため、多核種除去設備を導入予定。  
現在性能確認のための確認試験・評価、基礎工事を実施中。



# 廃止措置等に向けた進捗状況：敷地内の環境改善等の作業

## 至近の目標

- ・発電所全体からの追加的放出及び事故後に発生した放射性廃棄物(水処理二次廃棄物, ガレキ等)による放射線の影響を低減し, これらによる敷地境界における実効線量1mSv/年未満とする。
- ・海洋汚染拡大防止, 敷地内の除染

## ガレキの一時保管施設準備工事中

発電所全体からの追加的放出及び事故後に発生した放射性廃棄物による, 敷地境界における実効線量1mSv/年未満を達成するため, まずは, 至近の放出や保管の実績に基づく2012/4月時点での評価を実施。

評価の結果, 最大値は北エリアの敷地境界における約5.8mSv/年であり, 保管している瓦礫の直接線, スカイシャイン線による影響が5.7mSv/年と大きいことからガレキ一時保管施設の設置等の対策を実施。

ガレキ一時保管施設は, ガレキを覆土し保管するもので, 現在準備工事(2012/2/13~5/31予定)実施中。2012/6月よりガレキ等の受け入れ開始予定。



保護土工を実施中(2槽目)  
[2012/5/24撮影]



雨養生用の仮設テントを組み立て中  
(1槽目)[2012/5/24撮影]

## 免震重要棟の非管理区域化

免震重要棟の一部区域について, 2012/5/1より非管理区域運用開始。免震重要棟や協力企業活動拠点の線量低減・非管理区域化エリアの拡大について検討中(協力企業のニーズ調査を実施中)。



屋上コンクリート撤去状況



ゲートモーター室床鉄骨組状況

## 免震重要棟非管理区域化工事



## 遮水壁の設置工事中

万一, 地下水が汚染し, その地下水が海洋へ到達した場合にも, 海洋への汚染拡大を防ぐため, 遮水壁を設置工事中。(本格施工: 2012/4/25~)



遮水壁(イメージ)

## 取水路前面エリアの汚染拡大防止

取水路前面エリアの海底土を固化土により被覆し, 放射性物質の拡散を防止。1~4号機取水路前面の被覆を完了し, 今後はその効果をモニタリング等により確認。5, 6号機側にはシルトフェンスを追加設置し, 現在5, 6号機取水路前面の被覆工事を実施中。

- 〔1~4号機側被覆作業〕
- 2012/3/14 1層目被覆作業開始
- 2012/3/29 1層目被覆作業完了
- 2012/4/5 2層目被覆作業開始
- 2012/5/11 2層目被覆作業完了
- 〔5, 6号機側被覆作業〕
- 2012/5/16 シルトフェンス設置完了
- 2012/5/17 被覆作業開始予定
- 2012/6月末 被覆作業完了予定

被覆前海底状況  
(2012/2/26撮影)



2層目被覆後海底状況  
(2012/4/29撮影)

